

MAMプロジェクト012：トロマラマ

2010年7月24日 [土] —11月7日 [日] 森美術館 ギャラリー 1 (六本木ヒルズ森タワー 53階)



MAM プロジェクトは森美術館が世界各国の才能豊かな若手アーティストを応援するプロジェクト・シリーズです。

森美術館は2010年7月24日(土)から11月7日(日)まで、「MAM プロジェクト012：トロマラマ」を開催します。

トロマラマは、インドネシアのバンドゥンを中心に活動する3人組のアーティスト・ユニットです。フィビー・ベビーローズ(1985年生まれ)、ハーバート・ハンス(1984年生まれ)、ルディ・ハトゥメナ(1984年生まれ)により、バンドゥン工科大学在学中の2004年に結成、2008年のシンガポール・ピエンナーレへの参加以来、国際的な注目を集めています。

デザインや版画のバックグラウンドをもつ彼らは、身近な素材とストップモーションの技術を用いてユニークなアニメーション作品を制作しています。代表作の《戦いの狼》(2006年)は、ジャカルタのロックバンド「セリンガイ」のために作られたミュージックビデオです。ワンシーンごとに彫られた木版画の版木の本数は約450枚に及び、それをコマ撮りして制作されたこのアニメーションは、気が遠くなるほど手間のかかる丁寧な手仕事、斬新なイメージ、インドネシアのロック・サウンドが融合した作品です。また、RNRMというインディーズバンドのためのミュージックビデオでは、12kgのボタンと1kgのビーズを素材として、色鮮やかで軽快な作品を創作しています。

優れたデザインセンスに素朴な手触りとローテクを絶妙に取り入れるトロマラマの作品からは、懐かしさと斬新さが同時に感じられ、美術とポップカルチャーの新たな可能性が浮かび上がります。欧米のミュージックビデオはもちろんのこと、アニメやマンガなどの日本のポップカルチャーに囲まれて育った彼らは、多様な文化をしなやかに受容しつつ、独自の視点で制作に取り組んでいます。伝統的技法や日常にある素材を用いて、古くて新しい、ローカルかつグローバルなビジョンを紡いでいくトロマラマの創造性は、アジアの作家の新しい動きとして注目に値します。森美術館では、過去の作品とともに、インドネシアの伝統的な染色技法であるパティックを用いたビデオ・インスタレーションの新作を発表する予定です。

主催：森美術館 **助成：**インドネシア大使館 **協力：**ガルーダ・インドネシア航空会社

会場：森美術館 ギャラリー 1 東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 53階

入館料：一般 1,500円、学生(高校・大学生) 1,000円、子供(4歳-中学生) 500円

※森美術館「ネイチャー・センス展」と共通、展望台東京シティビュー(スカイデッキ除く)への入館料を含みます。

開館時間：10:00-22:00(火曜日のみ17:00まで。但し、※11/2は22:00まで。)※入館は閉館の30分前まで ※会期中無休

お問い合わせ：Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

おやこワークショップ「トロマラマとコマ撮りアニメをつくろう！」

2010年7月24日(土) 13:00-17:00 料金：材料費 一組 1,000円(要予約・要観覧券チケット)

アーティストトーク ※日英同時通訳付

2010年7月25日(日) 13:30-15:00 料金：無料(要予約・要観覧券チケット)

お申し込みは7月2日(金)午前11時よりウェブサイトで承ります。 WWW.MORI.ART.MUSEUM



《戦いの狼》2006年 ビデオ・インスタレーション
(ストップモーション・アニメーション・ビデオ、約450枚のベニヤ版木)
4分22秒



《ザーザーズー》2007年 ストップモーション・アニメーション・ビデオ
4分54秒

掲載の画像を含む最新のプレス画像は、森美術館ウェブサイトにて申請いただけます。

PRESS RELEASE プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報: 渡邊、瀧、岡崎 Tel: 03-6406-6111 Fax: 03-6406-9351 E-mail: pr@mori.art.museum
Website: www.mori.art.museum 〒106-6150 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

MORI ART MUSEUM

MORI ARTS CENTER